



令和3年11月8日
横浜市経済局産業連携推進課
イチバンライフ株式会社



LIP.横浜トライアル助成金活用で製品化

肌や頭皮をすこやかに保つシャンプー&トリートメントを開発

横浜市では、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出する産学官金のネットワークである「横浜ライフイノベーションプラットフォーム（LIP.横浜）」を推進しています。「LIP.横浜」の取組の一つである「LIP.横浜トライアル助成金」では、中小企業の研究開発を支援しています。

このたび、イチバンライフ株式会社が、本助成金の活用により、肌や頭皮をすこやかに保つシャンプー&トリートメントを新規開発し、販売を開始しました。

<イチバンライフ株式会社における商品開発の経緯>

薄毛や痒みといった頭皮トラブルの原因の一つがシャンプーだといわれています。また、毎日のようにお客様にシャンプーをする理美容業界のスタッフの多くが手荒れに悩んでいるといわれています。美容健康の観点から、肌や頭皮へのダメージが少ないシャンプーの開発が求められています。

イチバンライフ株式会社は、ある種の界面活性剤とヘアトリートメント成分について、皮膚細胞に対する毒性が非常に低いことを発見しました。同社は、平成30年度に採択を受けたLIP.横浜トライアル助成金を用いて、インド伝統ハーブなどを組み合わせた試作品を設計・開発し、横浜市立大学藤井道彦教授に試作品の細胞毒性試験（コロニー形成阻害試験）を研究委託しました。試験の結果、試作品は、培養ヒト皮膚細胞への細胞毒性が、市販されているシャンプーと比較して1/100程度であり、細胞への毒性が非常に低いことを確認しました。

本助成金を活用した結果を踏まえ、18種類のインド伝統ハーブや毛髪補修成分などを配合しました。また、洗浄力試験によって十分な洗浄力を有することを確認し、肌や頭皮をすこやかに保つシャンプー&トリートメントを開発しました。

※本製品は化粧品として販売するものです。医薬部外品ではありません。

※製品の詳細や購入方法は同社にお問い合わせください。



アーユルマスター
スカルブクレンジング&ヘアトリートメント

<イチバンライフ株式会社> HP <https://www.ichibanlife.jp/>

代表取締役 鮎澤 大 横浜市中区蓬莱町1-1-7 コシノパークサイドビル3F

美容・健康長寿を増進する比類なき製品を提供することにより、快適な長寿社会の実現への貢献を目的として、健康長寿に関する研究成果を事業化するために大学教授が設立したスタートアップです。

同社は、インド五千年の伝統医学「アーユルヴェーダ」と現代生命科学を融合し、「細胞の若返り」をテーマに科学的エビデンスのある画期的な健康長寿製品や化粧品の研究・開発・販売を行っています。

お問合せ先

(助成事業に関すること) 横浜市経済局産業連携推進課長 近藤 陽介 TEL: 045-671-2574
(製品に関すること) イチバンライフ株式会社統括部長 三木 健輔 TEL: 045-271-5587

※ 本件は、経済記者クラブにも同時発表しています。

トライアル助成金

健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指す市内中小企業、大学、研究機関等を対象として、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発などに活用できる助成金です。

※本助成金は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が横浜市経済局の補助金を受けて運営する事業です。

デジタルヘルスケアサポート拠点

デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。

この拠点では、IoT分野のI・TOP横浜と健康・医療分野のLIP横浜の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団、横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

■場所

横浜市中区尾上町1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

■利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

■主な支援内容

- ・相談対応・伴走支援、マッチング支援、展示会出展などの販路開拓支援
- ・論文や調査レポートなどの閲覧
- ・デジタルヘルスケア分野を含むヘルスケア分野参入セミナーなどのイベント開催

■利用方法

- ・利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

■お問合せ先

横浜市経済局産業連携推進課ヘルスケアビジネス担当

ke-healthcare@city.yokohama.jp

※支援内容や利用方法等については、順次、アップデートしていく予定です。



イノベーション都市・横浜

横浜市は、平成31年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のスタートアップなど、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。また、I・TOP横浜とLIP横浜の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進しています。

